資料３

西脇市立西脇病院経営基本計画

― 実施計画（案） ―

平成29年２月

1 策定の趣旨

近隣病院の統合や医療(介護)体制の改革など、西脇病院を取り巻く環境が変化するなか、将来を見据えつつ平成28年度からの当面の5年間についての経営計画を策定し、今後の政策の展開方針を示しています。32年度を目標とする基本計画に掲げる政策・施策の推進を図るため、具体的に取り組む事業内容や活動方針を体系的に取りまとめ、実施計画を策定しました。

2 実施計画の期間

平成28年4月から33年3月までの5年間とします。毎年度、前年度の実績を踏まえ、当該年度の具体的計画と数値目標を設定した実施計画を策定します。

3 実施計画の体系図

事業運営の目標	施策	No.
【経営の効率化】		
診療機能の強化	特色ある医療の提供	
	がん治療	1
	脳卒中治療	2
	糖尿病治療	3
	精神疾患	4
	救急・災害への対応強化	5
	チーム医療の推進	6
	医療安全・感染対策の強化	7
経営基盤の確立	収入の確保	
	入院収益の確保	8
	外来収益の確保	9
	検診・健診への積極的な取組	10
	収入の確実な確保	11
	支出の削減	
	給与費、材料費、経費の削減	12
	適切な投資・施設整備管理	13
	医療技術部門の強化	
	薬剤部	14
	検査部	15
	放射線部	16
	リハビリテーション部	17
	栄養部	18
	臨床工学部	19
	患者満足度の向上	20
人材の確保・育成	医師・看護師等の確保	21
	医療技術職員の確保	22
	医療分析・経営分析に向けた職員の確保	23
	研修・研修制度の充実及び意欲向上	24
【再編ネットワーク】		
地域との連携、交流の強化	病病・病診連携の強化	25
	地域医療を守る活動の支援	26
	情報発信の強化	27

No.1　特色ある医療の提供
がん治療

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
がん診療連携拠点病院の継続 集学的治療及び緩和ケア提供体制の整備、標準的治療等の提供を行うとともに、地域医療機関等との連携を構築する。	指定要件の整備					
緩和ケア食の構築 化学療法や放射線療法中の患者、ターミナルケアの患者に対し、患者のニーズに応じた食事提供が行えるよう食種の構築を目指す。		人員が整い次第再開。				
緩和ケアチームへの協力 緩和ケアチームが発動となった患者に対し、食事・栄養面からサポートを行う。		人員が整い次第再開。				
病診連携の強化 がん地域連携クリニカルパスを増やし、病診連携の強化を図る。	パス件数：3件	パス件数：5件	パス件数：8件	パス件数：10件		
人間ドックのオプション検査等 人間ドックのオプション検査化に伴い、PR強化による受診者数の増加を図る。			ホームページ・パンフレットの刷新			
がん関連認定看護師等の取得 緩和ケア、疼痛緩和などがん関連の看護ケアの充実を図り、がん診療拠点病院として積極的ながん治療を行う。				がん関連認定看護師の複数の資格取得		

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
新入院がん患者数	（人）	953	1,131	1,100	1,100	1,100	1,100
放射線治療延患者数	（人）	1,816	1,981	2,100	2,100	2,150	2,200
外来化学療法延患者数	（人）	1,253	1,250	1,300	1,300	1,300	1,300
がん患者リハビリ単位数	（件）	592	1,948	1,950	1,950	1,950	1,950
子宮がん検診	（人）	160	240	240	240	240	240
肺がん検診	（人）	145	130	140	140	140	140
乳がん検診	（人）	635	600	600	600	600	600
ABC検査	（人）	112	110	110	110	110	110
CT件数	（件）	16,281	16,305	18,500	18,600	18,700	18,800
MRI件数	（件）	6,176	5,633	6,300	6,400	6,500	6,550
RI件数	（件）	534	385	550	570	580	600
マンモ件数	（件）	1,180	1,190	1,300	1,350	1,400	1,450

No.2　特色ある医療の提供
脳卒中治療

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
クリニカルパスの効果的な運用 連携医療機関の回復期リハビリ病棟、療養型病棟への有効活用を行う。	連携件数 149 件	連携件数 145件	連携件数 146件	連携件数 147件		
3.0テスラMRIの活用 北播磨圏域の医療拠点病院として、脳血管疾患の機能強化を図る。	フル稼働	フル稼働				
専門医の育成 脳卒中の専門医を育成する。						
脳卒中認定看護師の育成 脳卒中リハビリテーション認定看護師を育成する。				2名		
摂食嚥下障害認定看護師の育成 摂食嚥下障害看護認定看護師を育成する。				2名		

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
パスによる紹介件数	(件)	149	174	150	155	160	165
脳卒中（脳外科）入院件数	(件)	462	474	500	500	500	500
脳血管治療件数	(件)	93	126	150	150	150	150

No.3　特色ある医療の提供
糖尿病治療

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
糖尿病教室 年2回開催し、食に関する知識の普及に努める。	実施	年3回実施予定				
外来や予防指導の充実 糖尿病合併症外来や糖尿病透析予防指導において、医師・看護師等と連携し、患者に応じた適切な指導を行う。	実施	実施				
糖尿病患者への栄養指導 入院患者：適切な食事提供 栄養指導依頼提案 外来患者：継続的な栄養指導	実施	実施				
専門知識を持つスタッフの育成 糖尿病に関する認定栄養士を育成する。	糖尿病療養指導士の資格取得					
糖尿病認定看護師の育成 糖尿病認定看護師を育成する。	糖尿病看護認定看護師資格取得					
血液浄化ベッド数の増加 当院で血液浄化を行い、外来にて血液浄化を行う患者を増やす。	ベッド数の増加**（1床増）**					

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
血液浄化ベッド	（床）	18	18	18	18	18	18
入院血液浄化件数	（件）	1,293	820	1,200	1,000	1,000	1,000
外来血液浄化件数	（件）	5,637	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
栄養指導件数	（件）	1,431	1,580	1,600	1,800	1,850	1,900
NST介入件数 （栄養サポートチーム）	（件）	818	930	935	940	945	950

No.4　特色ある医療の提供
精神疾患

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
認知症疾患センターの指定 認知症疾患における鑑別診断、地域における医療機関等の紹介、問題行動への対応についての相談受付などを実施する。	→	→	→	→	→	→
精神科リエゾンチーム加算の算定 精神科リエゾンチーム加算の算定に向けたチームの結成を進める。	→	→	→	→	→	→
特定研修施設の指定 リエゾン専門医を目指す特定研修施設の指定を受け、スタッフを育成する。	→ リエゾン専門医・スタッフの育成	→	→	→	→	→
がん患者の心のケア（サイコオンコロジーの領域）	→	→	→	→	→	→
ECT等専門治療	→ 精神科病院と連携し、年間10件を目指す	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
入院精神療法件数	（件）	1,352	500	500	500	500	500

No.5　特色ある医療の提供
救急・災害への対応強化

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
災害備蓄品の確保 災害備蓄品（薬品、材料、食品）を3日分確保する。必要な数量・消費期限を定数管理し、更新等による経費負担を平準化する。	3日分確保（随時更新）					
DMATチームの充実 DMAT隊員の強化（人数増員、訓練・研修会参加）を図り、災害拠点病院として積極的に災害派遣を行う。		DMAT隊員新規養成				
医療救護班の充実 医療災害訓練の積極的な参加により医療救護のスキルアップを図り、災害、救急対応を行う。						

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
災害訓練への参加	（件）	1	3	1	1	1	1
災害訓練の実施	（件）	0	0	1	1	1	1
救急搬送件数	（件）	7,239	7,200	7,300	7,400	7,500	7,600

No.6　チーム医療の推進

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
薬剤師の入院棟配置 入院時における薬剤師の役割の拡大により、医師、看護師の負担軽減とともに、更なる医療の質の向上を図る。	入院棟常駐化は、人員不足でできていないが、病棟業務業務も行っている。	入院棟常駐化を目指し、病棟業務を充実させる	入院棟常駐化を目指し、人員を確保し病棟業務を充実させる	入院棟常駐化を目指し、人員を確保し病棟業務を充実させる	薬剤師の病棟常駐	薬剤師の病棟常駐
周術期等の口腔機能の管理 周術期に専門的な口腔管理を行うことで、呼吸器系合併症の軽減や抗がん剤、放射線治療による粘膜病変を軽減する。手術周期、高齢者の誤嚥性肺炎の防止などを目的とした活動を推進する。						
糖尿病教育チーム活動の推進 糖尿病透析予防指導による生活習慣病対策を推進する。						
認定看護師の資格取得支援 より高い医療サービスを実現させるため、優秀なスタッフの育成に努めるとともに、認定取得を積極的に支援する。	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
臨床研修指導医の資格取得 厚労省が認定する臨床研修指導医講習を計画的に受講し、指導医数の充実を図る。	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
地域看護力の向上 地域看護の質向上と担保に向けた看護教育研修センターでの、充実した研修を提供する。年間12回以上の開催を目指す。						

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
NST介入件数【再掲】 (栄養サポートチーム)	(件)	818	930	935	940	945	950
緩和ケア介入件数	(件)	25	21	25	25	25	25
褥瘡対策チーム介入件数	(件)	155	220	－	－	－	－
VAP介入件数 (人工呼吸器関連肺炎対策チーム)	(件)	50	140	－	－	－	－
ICT介入件数 (感染制御チーム)	(件)	761	1,100	－	－	－	－
認定看護師	(人)	2	0	2	2	2	2
臨床研修指導医	(人)	2	3	2	2	2	2

No.7　医療安全・感染対策の強化

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
職員の感染予防 病院に勤務する職員にB型肝炎ワクチンやインフルエンザワクチンを予防接種することにより、職員への感染を未然に防ぐ。	→	→	→	→	→	→
医療事故の防止 医療安全研修会を定期的に開催するとともに、インシデント発生時には報告を徹底させ、原因の分析を行い、安心で安全な医療の提供に努める。	→	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
インシデント発生報告件数	(件)	869	960	1,000	1,000	1,000	1,000
院内医療安全研修会開催件数	(件)	2	2	2	2	2	2
院内感染対策研修会開催件数	(件)	6	6	6	6	6	6
感染対策委員会開催件数	(回)	14	12	12	12	12	12
入院後鼻腔MRSAスクリーニング陽性率	(%)	3.2	4.5	3.0	3.0	3.0	3.0
VAP介入件数（再掲） （人工呼吸器関連肺炎対策チーム）	(件)	50	140	－	－	－	－

No.8　収入の確保
入院収益の確保

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
7対1入院基本料の維持継続 看護師数、平均在院日数、看護必要度等施設基準の確保を推進する。	→	→	→	→	→	→
診療報酬改定の対策 2年毎に改正される診療報酬の対策を図り、収益を確保する。	→	→	改定	→	改定	→
DPC分析 DPC分析データに基づく病院指標の作成と公開を行う。	→	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
1日平均入院患者数	（人）	265.6	280.0	284.0	286.0	286.0	286.0
病床稼働率	（%）	83.0	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5
1人1日入院診療単価	（円）	48,929	50,200	50,800	51,100	51,100	51,100

No.9　収入の確保
外来収益の確保

取組内容	27年度(実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
救急患者の積極的な受入れ 消防からの受入れ体制(受入時間等)等を強化する。	脳神経外科の他に内科の24時間当直の実施					
専門・特殊外来の設置 高度で、専門性の高い医師の配置により、患者のニーズに沿った医療を提供する。						

数値目標	単位	27年度(実績)	28年度(見込み)	29年度(目標)	30年度	31年度	32年度
1日平均外来患者数	(人)	593.8	585.0	590.0	592.0	592.0	592.0
1人1日外来診療単価	(円)	12,664	12,800	13,000	13,100	13,100	13,100
救急搬送件数(再掲)	(件)	7,239	7,200	7,300	7,400	7,500	7,600

No.10　収入の確保
検診・健診への積極的な取組

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
人間ドックのレベルアップ 受診者が安心して健診を受けられるよう人間ドック健診施設機能評価の認定取得を目指す。	→	申請・認定	→	→	→	→
オプション検査の充実 必要な健診がを受けられるよう検査内容の充実を目指す。	→	検査内容のメリットをPRする	→	→	→	→
受診枠の見直し 使用する医療機器、検査担当技師等を増やし、受診枠の拡大に向けた見直しを計画する。	→	マンモ検査枠の拡大を検討・技師の増員	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
一泊人間ドック	（人）	88	90	90	90	90	90
日帰り人間ドック	（人）	422	430	430	430	430	430
脳ドック	（人）	204	210	220	220	220	220
成人病検診	（人）	518	540	540	540	540	540
乳児・新生児健診	（人）	429	420	450	450	450	450
妊婦検診	（人）	3,257	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200

No.11　収入の確保
収入の確実な確保

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
職員夜間訪問徴収の実施 定期的に夜間訪問により徴収する。	→	→	→	→	→	→
		定期的な訪問徴収と、電話や手紙などによる督促				
院内診療報酬研修会の実施 院外講師及び医事課職員による職員研修会を実施する。	→	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
過年度個人未収金	（千円）	21,109	26,900	19,000	19,000	19,000	19,000
院内診療報酬研修会開催件数	（回）	2	2	4	4	4	4

No.12　支出の削減
給与費、材料費、経費の削減

取組内容	27年度(実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
材料費(薬品費)比率の削減 見積もり合わせの手法を協議し、削減に努める。	→	→	→	→	→	→
材料費(診療材料費)比率の削減 SPDの効率化を進める。	→	一括見積合わせにより、1社を選定。3年契約	→	→	→	→
経費比率の削減 光熱水費等、より効率的な削減・節減に努める。	一般社団法人省エネルギーセンターによる調査・指導	→	→	→	→	→
給与費比率の削減 収益効果の高い人材を確保する。	→	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度(実績)	28年度(見込み)	29年度(目標)	30年度	31年度	32年度
材料費比率(医業収益対比)	(%)	21.6	22.6	22.5	22.3	22.4	22.4
経費比率(医業収益対比)	(%)	16.1	16.9	17.7	17.5	17.6	17.6
給与費比率(医業収益対比)	(%)	57.8	57.2	56.1	55.7	56.0	56.2

No.13　適切な投資・施設整備管理

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
電子カルテシステムの更新 現システムの問題点を洗い出すとともに各社新機種の性能比較などを十分に行い、よりよい電子カルテシステム環境の構築を目指す。	11月に新システム稼働					
医療機器整備計画の策定 専門性の高い高度医療機器や患者ニーズの高い各種検査機器を計画的に導入することにより、よりよい医療を提供する。	年度ごとに見直し					
資産の効率的な運用 利用頻度の少ない一戸建て医師公舎の売却を進める。						

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
機器整備金額(システム)	千円	918,000	250,000	250,000	150,000	150,000	150,000
機器整備金額(機器)	千円						

No.14　医療技術部門の強化
薬剤部

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
薬剤師の入院棟配置 入院時における薬剤師の役割の拡大により、医師、看護師の負担軽減とともに、更なる医療の質の向上を図る。	入院棟常駐化は、人員不足でできていないが、病棟業務薬務も行っている。	入院棟常駐化を目指し、病棟業務を充実させる	入院棟常駐化を目指し、人員を確保し病棟業務を充実させる	入院棟常駐化を目指し、人員を確保し病棟業務を充実させる	薬剤師の病棟常駐	薬剤師の病棟常駐
抗がん剤調製の100%実施の維持 急激な件数増加に対処するため、休日対応も含め、調製人員の増強を図る。	調製担当者を2名養成した。	調製担当者を養成	調製担当者を養成	薬剤師のローテションの確立（休日も含む）	薬剤師のローテションの確立（休日も含む）	薬剤師のローテションの確立（休日も含む）
後発医薬品の採用促進 後発医薬品の採用を進めるため、数量ベースの増加を目指すと同時に、包括部分の高額部分についても検討する。	数量ベース70%を超えて目標を達成した。	医療情報の当院EVEデータで数量ベース81%を目指す	医療情報の当院EVEデータで数量ベース83%を目指す	医療情報の当院EVEデータで数量ベース90%を目指す	医療情報の当院EVEデータで数量ベース90%を目指す	医療情報の当院EVEデータで数量ベース90%を目指す
医薬品情報等の情報提供強化 イントラネットを利用した情報発信に加え、メール等による発信にも取り組む。	新電子カルテによる情報提供を行った。	新電子カルテによる情報提供	新電子カルテによる情報提供	新電子カルテによる情報提供	新電子カルテによる情報提供	新電子カルテによる情報提供

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
ハイリスク指導件数	（件）	5,586	4,891	4,200	4,300	4,350	4,400
その他指導件数	（件）	6,189	6,289	4,650	4,700	4,750	4,800
薬剤師数（各年度3月末現在）	（人）	14	14	17	17	18	18

No.15　医療技術部門の強化
検査部

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
検査専門分野スタッフ育成 認定超音波検査士 細胞検査士 糖尿病指導療養士 他を育成する。	随時増加を目指す	継続	継続	継続	継続	継続
各科からの検査要求対応 血液内科、循環器内科、乳腺外来からの検査に対応する。（超音波検査、フローサイト検査への対応）	各種エコー検査依頼への対応	各種エコー検査依頼への対応	継続			
各科からの検査要求対応 脳神経外科、整形外科、内科、新生児室などからの検査に対応する。（術中モニタリング、新生児ABRスクリーニング検査への対応）	新生児聴覚スクリーニング検査	整形外科術中モニタリング検査への対応	術中モニタリング検査への対応			

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
超音波検査数	（件）	8,968	8,800	8,900	9,000	9,050	9,100
肺機能検査数	（件）	1,555	1,531	1,550	1,575	1,600	1,625
重心動揺検査数	（件）	107	57	80	80	80	80
脳波検査数	（件）	429	368	380	390	400	410
ABI検査数	（件）	804	720	750	760	770	780
心電図検査数	（件）	8,573	8,577	8,600	8,650	8,700	8,750
臨床検査技師数（各年度3月末現在）	（人）	15	14	16	16	16	16

No.16　医療技術部門の強化
放射線部

取組内容	27年度(実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
3.0テスラMRIの運用 地域の医療機関との連携を強化し、院外からの受託件数を増やす。	フル稼働にて待ち時間は少なくなる	現在も待ち時間は少なくなる				
スタッフの育成 認定資格の取得による技術力の向上を目指す。	今年度は一人増し現在4人となる	今年度も二人認定を取り6人になる		合計6人以上の認定技師の取得		

数値目標	単位	27年度(実績)	28年度(見込み)	29年度(目標)	30年度	31年度	32年度
アンギオ件数	(件)	364	348	400	420	450	470
骨塩定量件数	(件)	1,024	1,001	1,200	1,250	1,300	1,350
一般撮影系件数	(件)	26,030	23,635	26,100	26,200	26,300	26,500
CT 件数(再掲)	(件)	16,281	16,305	18,500	18,600	18,700	18,800
MRI 件数(再掲)	(件)	6,176	5,633	6,300	6,400	6,500	6,550
R I 件数(再掲)	(件)	534	385	550	570	580	600
マンモ件数(再掲)	(件)	1,180	1,190	1,300	1,350	1,400	1,450
放射線治療件数(再掲)	(人)	1,816	1,981	2,100	2,100	2,150	2,200
診療放射線技師数(各年度3月末現在)	(人)	13	14	14	15	15	15

No.17　医療技術部門の強化
リハビリテーション部

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
施設基準の維持 地域包括ケア病棟の施設基準であるリハビリ2単位以上を維持する。	→	施設基準を維持する	→	→	→	→
施設基準の取得 心臓大血管リハビリテーション料（Ⅰ）の施設基準を取得する。	→	→	→	→	→	→
1日1人取得目標単位数の設定 1日1人取得目標単位数を18単位とする。	→	目標18単位	→	→	→	→
リハビリ治療3連休の解消 継続的な入院リハビリ治療を充実する。	維持	維持する。	→	→	→	→
スタッフの育成 がん患者リハビリテーション研修会などの研修会に積極的に参加する 糖尿病療養指導士、心臓リハビリ指導士、呼吸療法認定士、などの資格を取る	→	研修会に参加	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
脳血管疾患リハ単位数	(件)	23,834	24,369	34,000	40,000	44,000	48,000
廃用症候群リハ単位数	(件)	18,014	14,733	21,000	24,000	26,000	28,000
運動器リハ単位数	(件)	16,876	11,926	18,000	21,000	23,000	25,000
呼吸器リハ単位数	(件)	409	1,087	1,200	1,500	2,000	2,500
摂食療法リハ単位数	(件)	36	150	200	250	300	300
がん患者リハ単位数	(件)	592	1,948	2,500	3,000	3,500	4,000
理学療法士数（各年度3月末現在）	(人)	7	7	9	9	10	10
作業療法士数（各年度3月末現在）	(人)	3	3	4	8	8	8
言語聴覚士数（各年度3月末現在）	(人)	2	2	4	4	4	4

No.18　医療技術部門の強化
栄養部

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
スタッフの育成 栄養と食の専門職として専門的技術を育成する。	→	→	→	→	→	→
食事満足度アンケート 入院時食事改善	→ 実施	→	→	→	→	→
専門知識を持つスタッフの育成 糖尿病に関する認定栄養士を育成する。	→ 糖尿病療養指導士の資格取得	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
栄養指導件数	(件)	1,431	1,580	1,600	1,800	1,850	1,900
糖尿病教室	(回)	10	10	10	10	10	10
糖尿病透析予防指導管理料	(件)	60	120	125	130	135	140
NST介入件数 (栄養サポートチーム)	(件)	818	930	935	940	945	950
管理栄養士数(各年度3月末現在)	(人)	3	3	5	6	6	6

No.19　医療技術部門の強化
臨床工学部

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
スタッフの育成 各種臨床業務に対応できるようスタッフの育成を図る。	→	→	→	→	→	→
ME機器保守管理 安心できる医療の提供のため、ME機器の保守管理を充実させる。	→	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
ペースメーカー件数	(件)	100	90	120	120	120	120
心臓カテーテル件数	(件)	79	65	100	100	100	100
入院透析件数（再掲）	(件)	1,293	820	1,200	1,200	1,200	1,200
外来透析件数（再掲）	(件)	5,637	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
臨床工学技士数（各年度3月末現在）	(人)	5	5	5	5	5	5

No.20　患者満足度の向上

取組内容	27年度（実施）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
意見箱の設置 意見箱を院内数か所に常設し、患者をはじめ来院者に意見や感想を記入いただき、医療サービスの改善に努める。	実施					
患者アンケートの実施 1年に数回、入院・外来患者にアンケート記入に協力いただき、サービスの向上を目指す。	実施	2月に実施予定				

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
患者アンケート実施回数	(回)	1	1	1	1	1	1
患者アンケートの回答数(新)	(数)	－	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
患者アンケートによる改善事項(新)	(数)	－	8	5	5	5	5

No.21　医師・看護師等の確保

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
医師公舎の改修 築年数、老朽度、必要数量を基に、適切な公舎維持を図り、働きやすい環境を整える。						
医師確保 病院機能として必要な専門医等の確保を目指す。						
看護師確保 修学資金制度を継続して実施する。	実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
人材育成 スキルアップのための研究・研修会への参加を支援する。						
医師事務作業補助者の確保 配備により、医師の事務処理負担の軽減を図る。		人員確保と業務拡大のため調査研究を行う				

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
医師数（各年度3月末現在）	（人）	52	48	54	55	56	57
研修医数（各年度3月末現在）	（人）	7	10	12	12	12	12
看護師数（各年度3月末現在）	（人）	257	255	274	280	280	280
奨学資金貸与者数	（人）	10	11	15	15	15	15
医師事務作業補助者数	（人）	7	7	8	8	8	8

No.22　医療技術職員の確保

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
人材育成 スキルアップのための研究・研修会への参加を支援する。	→	→	→	→	→	→
医療技術職員の確保 病院機能として必要な専門技術職員等の確保を目指す。	→	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
診療放射線技師数（各年度3月末現在）	（人）	13	14	14	15	15	15
臨床検査技師数（各年度3月末現在）	（人）	15	14	16	16	16	16
理学療法士数（各年度3月末現在）	（人）	7	7	9	9	10	10
作業療法士数（各年度3月末現在）	（人）	3	3	4	8	8	8
言語聴覚士数（各年度3月末現在）	（人）	2	2	4	4	4	4
薬剤師数（各年度3月末現在）	（人）	14	14	17	17	18	18
管理栄養士数（各年度3月末現在）	（人）	3	3	5	6	6	6
臨床工学技士数（各年度3月末現在）	（人）	5	5	5	5	5	5

No.23　医療分析・経営分析に向けた職員の確保

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
人材育成 スキルアップのための研究・研修会への参加を支援する。	→	→	→	→	→	→
医療分析・経営分析に向けた職員の確保 病院機能として必要な医療・経営分析職員等の確保を目指す。	→	→	医事課専門職員の配置	→	→	→
医療分析・経営分析 医療分析（EVE）の活用	→	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
診療情報管理士数（各年度3月末現在）	（人）	2	2	3	3	4	4
医事課専門職員数	（人）	－	1	1	1	2	2

No.24　研修・研修制度の充実及び意欲向上

取組内容	27年度(実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
院内研修 参加しやすい時間帯や内容を配慮しながら人権研修や接遇研修、交通安全研修などを実施する。	→	→	→	→	→	→
院内・院外発表 院内発表会を定期的に開催し、成果発表の場を確保する。また、機会があれば、院外の発表会へも積極的な参加を促す。	→	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度(実績)	28年度(見込み)	29年度(目標)	30年度	31年度	32年度
院内研修会開催件数							
人権研修	(回)から(参加者数)に変更	1	90	100	100	100	100
接遇研修	(回)から(参加者数)に変更	1	80	100	110	120	130
交通安全研修	(回)から(参加者数)に変更	1	320	320	330	340	345
院内・院外発表件数							
院内発表会	(件)	2	2	2	2	2	2
院外発表会	(件)	2	1	2	1	2	1
職員アンケート	(回)	2	2	2	2	2	2
職員提案(新)	(数)	60	41	60	60	60	60
職員提案に改善した事項(新)	(数)	4	4	4	4	4	4

No.25　病病・病診連携の強化

取組内容	27年度(実績)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
地域医療支援病院の要件維持 新設科及び院内の診療科充実等により、紹介率の向上を目指す。	→	→	→	→	→	→
パスによる連携強化 地域連携クリニカルパスによる病診連携の強化を図る。(脳、骨、がん)	→	→	→	→	→	→
地域医療機関との連携 病院及び施設間の訪問や事例検討や講演会等の開催を推進する。	→ 近隣の病院・開業医訪問や検討会などを充実	→	→	→	→	→
退院調整の強化 北播磨の退院調整ルールの浸透・徹底、多職種との連携による退院調整の強化等を行う。	→ 情報共有のためのカンファレンス等を有効に利用	→	→	→	→	→
地域医療システムの充実 地域医療システム「北はりま絆ネット」の運用拡大を図る。	→	→	→	→	→	→

数値目標	単位	27年度(実績)	28年度(見込み)	29年度(目標)	30年度	31年度	32年度
紹介率	(%)	65.5	69.0	66.5	67.0	68.0	69.0
逆紹介率	(%)	60.1	67.0	60.5	61.0	61.5	62.0
退院支援加算 1	(件)	-	949	850	900	950	1,000
介護支援連携指導料	(件)	416	520	420	425	430	435
退院時共同指導料2	(件)	118	100	90	95	100	105
地域連携クリニカルパス(脳・骨)	(件)	192	226	195	200	205	210
地域連携診療計画加算	(件)	-	165	160	165	170	175
地域連携クリニカルパス(がん)	(件)	3	9	8	10	12	14
院外者を対象とした研修会、症例検討会、講演会の開催回数	(回)	30	30	30	30	30	30

No.26　地域医療を守る活動の支援

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
病院フェスタの開催 地域医療への理解促進を図り、病院の現状、医療の大切さを理解してもらう。また、様々なイベントを通じ、親しまれる開かれた病院づくりを目指す。	毎年開催					
ボランティアの受入れ ボランティア活動の円滑化及びボランティアの積極的な受け入れによって、患者サービスの充実・向上を図る。市民との交流とともに、地域に信頼される良質な医療の提供に努める。	縫製ボランティア（毎水曜日）					

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
病院フェスタ来場者数	（人）	1,600	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

No.27　情報発信の強化

取組内容	27年度（実績）	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
ホームページの充実 新着情報の随時更新やタイムリーな情報の発信に努める。	情報収集 情報発信					
広報紙の発行 見やすく、親しみやすい紙面づくりに努める。	編集・発行					
教室・セミナーの開催 誰もが気軽に参加できる教室やセミナーを企画し、開催する。	企画・開催 内容検討					

数値目標	単位	27年度（実績）	28年度（見込み）	29年度（目標）	30年度	31年度	32年度
院内紙（ふれあい通信）	回	4	4	4	4	4	4
院外紙（ハートtoハート）	回	2	2	2	2	2	2
紀要	回	1	1	1	1	1	1
健康セミナー	回	11	10	11	11	11	11